

# 感覚の回生

小川未明

青空文庫



夏の午後になると風も死んで了った。村の中は、湯に浸されたように空気が烈しい日の光りのためによどんでいる。私は、友達もなく独り座敷に坐つて、外のもろこしの葉や、柿の葉に日の光りが照り付けているのを眺めていると、何事もすべて、其の葉に映っている日光の焼点の中に集められているような気がした。東京に行った隣の友吉の姿も、寺の御堂にかゝっている蜂の巢も、或る夕暮方、見た六部の姿ろくぶを考えるとなしに、じつと一点に集つて葉の上に光っている太陽の焼点の中に映っているような気がした。で、自分は、其の光りの中に集っている其等の一つ一つの姿や、記憶や、懐しさのある面影を探ねようと、茫然と其の葉の上

を見ていると、家の人々は、昼眠ひるねをして誰も起きているものもな  
 いから、極めて家の中がしんとしている。遠くで、いつもする糸  
 車の音も響いて来なかつた。けれど私の心は、此の四辺あたりの静かな  
 裡に一つあつて、眠ることも出来なければ、安らかに居ることも  
 出来なかつた。この音のない天地を、小さな子供の努力でありな  
 がら、掻き乱したい。眠ることの出来ない孤独の我が心を、昵じつと  
 して淋しくしているだけの忍耐が出来なかつた。

其処で、私は、眠ねている祖母の傍かたわらに行つて揺つて起こそうとし  
 た。すると母は、『お前、昼眠をせんで起きているのか、頭に悪  
 いから斯こんな様熱いのに外へは出られんから少し眠て起きれ。』とい  
 つて、また其そのまま儘眠つてしまった。私は、張合が抜けて父の室に

行つて見ると、新聞を読んでいた父もいつしか眼鏡をかけたまゝ、手枕をして眠っている。私は、父を揺り起そうとした。すると、『うるさい。少し眠かしてくれ。』といったぎり、また眠つてしまった。私は、全く、孤独であつた。

熱い烈しい日光を冒して外に出て見たが、眼が眩むように、草も木も、すべてだらりと葉を垂れて、昵と光っている。此の平和の村は、何処どこの家も昼眠をしていると見えて、誰も、外に出ている人の姿を認めなかつた。

『斯様、暑い日に外へ出るのはお前ばかりだ。』といった母の言葉が思い出された。

私は、語ろうと思つたけれど、友達がなかつた。独りで桑圃くわばた

のある方へ歩いて来ると、おはぐる蜻蛉とんぼが、一足頭びきの上を舞っている。私は、このおはぐる蜻蛉は、どんな気持で、此の烈しい日光の中を飛んでいるかと思つて、暫しばらく立止つて眺めていると、極めて落付いて安心して、自分の考えるまゝに自分は自由に平気で飛んでいるのだといわぬばかりに、ひらくと頭の上を飛んでいた。其のような、蜻蛉の飛んでいる様子を見た時に、私は見逃すような穏しい子供でなかつた。常に、『これはいゝあんばいだ。こんなおはぐる蜻蛉が下に降りて飛んでいることはない』と心は躍つて、きつと工夫して帽子で捕えるか、細い棒で叩き落したものである。

また草の繁つた中に入って、チツ、チツ、チツと啼いている虫

の音を聞き澄して捕えようと焦ったものだ。自分の踏んだ草が、自然に刎ね返つて、延び上つた姿、青い葉の裏に、青い円い体まろに銀光の斑点の付いている裸虫の止つているのも啼く虫と見えて、ぎよつとしたこと、其の時の小さな心臓の鼓動、かゝる空溝からどぶに生えている草叢くさむらにすら特有の臭い、其等は、今、こうやつて机に向つていると、まぎ／＼として目に見え、鼻に来る覚えがする。けれど、平常ペンふだんを採つていて、この色、この臭いを今考える程強く書いたことはなかつた。

また、かゝる日に自己の興を求めて殺生した事実について考えさせられたこともなかつた。

真面目に自己というものを考える時は常に色彩について、嗅覚

に付て、孤独を悲しむ感情に付て、サベージの血脈を伝えたる本能に付て、最も強烈であり、鮮かであつた少年時代が追懷せられる。故に、習慣に累せられず、知識に妨げられずに、純鮮なる少年時代の眼に映じた自然より得來た自己の感覺を芸術の上に再現せんとして、努力するのは、蓋し、茲に甚大の意義を有すること  
けだ ここ  
 を知からである。

(七月八日)

# 青空文庫情報

底本：「芸術は生動す」国文社

1982（昭和57）年3月30日初版第1刷発行

底本の親本：「北国の鴉より」岡村盛花堂

1912（大正元）年11月25日初版

1913（大正2）年6月17日再版

入力：Nana ohbe

校正：仙酔ゑびす

2011年11月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 感覚の回生

小川未明

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>